

# 議会だより

～“まち”の動きがよく分かる!～



あさぎり町議会だよりは  
ホームページでもご覧頂けます。

## 阿蘇釈迦堂での 花まつり

堂内の木造釈迦如来坐像・木造二天王立像は  
令和7年9月に国重要文化財に指定されました



### 通年議会 第7回～第8回会議

令和8年度当初予算	2～7
第7～8回内容	8～9
一般質問	12～19
議員活動報告	22～23

# 予算 119億 歳入・歳出 事業 2,251万8千円

「魅力ある就業・産業の構築」

## 奨学金返還若者就労支援事業補助金

### 600万円

- ・年間返還額 補助率 2 / 3 (上限 20 万円)
- ・町内に住所を要し、人吉球磨管内に就労等をしている
- ・補助期間 令和 8 年度～ 10 年度
- ・承認申請時年齢 30 歳以下



「魅力ある生活基盤の構築」

## あさぎり町役場 本庁舎駐車場等整備事業

### 4,950万円

- ・舗装の経年劣化に対応、全面的に駐車場舗装の打換えを行い安全性・快適性を向上させる



「魅力ある就業・産業の構築」

## 植林獣害対策事業補助金

### 407万円

- ・私有林の植林した苗木の単木保護(ツリーシェルター) 導入を支援、獣害対策を図る



「魅力ある生活基盤の構築」

## 自転車道整備事業 (免田川南線)

### 1,400万円

- ・路面表示や段差を解消し安全走行を目指す
- ・人吉球磨地域のサイクルルートと連携し町内周遊コースの整備を進める



「魅力ある教育・文化の構築」

## あさぎり町入学祝金事業

### 935万円

- ・子育て世帯への経済的負担の軽減と児童生徒の健全な育成を図り、定住促進並びに子育てしやすい町づくりに寄与する
- ・小学校3万円/人、中学校5万円/人



「魅力ある健康・福祉の構築」

## 健幸運動教室およびデジタル健幸ポイント事業

### 4,123万円

- ・高齢化が進んでも健幸で暮らせるまちづくり
- ※健幸とは身体の健康と生きがいを感じ安心安全で豊かな生活を送ること
- ・医療費・介護給付費の抑制につなげる



# 令和8年度

# 当初 主な

「魅力ある生活基盤の構築」

## デジタル推進事業 「スマホ市役所」サービス導入

### 359万円

- ・利用者の多いLINE上で電子申請や避難所受付を行う機能を持った「スマホ市役所」サービスを導入
- 「行政手続のさらなる電子化と住民の利便性向上を図る」



あさぎり町公式LINEの機能を拡充

「魅力ある健康・福祉の構築」

## 保育所等におけるICT化推進事業 (保育対策総合支援事業費補助金)

### 678万円

- ・保育士等が働きやすい環境を整備することで保育人材の確保を目指す



〈一般会計〉

総務課

**問** 防災士資格取得の講習会対象者の年齢制限や、アマチュア無線の資格取得について予算計上の考えはないのか。

**答** 防災士資格取得のための講習会負担金については、特に年齢等の制限は設けていない。非常時の通信手段としてアマチュア無線も含めて様々なツールを検討しているところである。

**問** 防犯灯の状況と通学路に設置する防犯灯はどのくらい予定されているか。

**答** 防犯灯は2,030基。修繕料は前年度の493万2,000円から600万円に増額している。防犯灯の新設箇所として、通学路を優先的に5箇所を予定している。

企画政策課

**問** くま川鉄道全線開通にあわせ、軌道敷地の除草作業及び記念行事の取り組みについては。

**答** 線路の維持管理は、くま川鉄道管理機構が業者に委託して行うと聞いている。イベントについては、1月30日に「くま川鉄道全線運航再開関連イベント実行委員会」が設立されたので、組織された担当会で検討されていく。



9月20日全線開通のくま川鉄道

**問** 地域脱炭素推進補助金で、電力売上の1%を事業所が本町に寄附し、再エネ推進基金をつくることになっていたが。

**答** 脱炭素事業は、令和5年度から令和9年度までの5か年間で計画をされてきたもの。協定には、事業に係る売上げの1%を寄附するという条項があるが、今年度が終わった段階で事業費が確定するので基金にするのか検討し、売上高の1%寄附ということは確実にやっていきたい。

**問** あさぎり商社へ委託をするバイオ炭についての現状は。

**答** 地域おこし協力隊と竹林再生協議会が取り組んでいるが、現時点では効果や土壌分析などの課題があり、進んでいない。農業試験場でバイオ炭を活用した薬草栽培をお願いしているので、収穫後の効果を検討したい。

**問** 特定地域づくり協同組合に、機械を新規で導入し、隙間時間に効率的に除草作業を行えるよう支援できないか。

**答** トラクターなど大型のものは難しいが、刈り払い機など10万円を切るような備品であれば、支援ができるのではないかと思う。

財政課

**問** 山林売却をする場合、里道などの道路が入っており図面上に残ってるが、その取り扱いをどのように考えているのか。

**答** 里道等、法定外公共物としてそのほとんどが町に移管をされている。一般の方が譲渡を希望されるならば、その周辺の方の利用がされないという確認が取れた場

合、有償にて希望される方に譲渡する手続になる。

農林振興課・農業委員会

**問** 中山間地域等直接支払制度は、ネットワーク・スマート農業加算で国の予算が増額されたが、その事業内容は。

**答** ネットワーク加算においては、ラジコンの自走する草刈り機を利用した除草対策、高土手など危険箇所に対しての防草シートを設置。スマート農業加算については、ドローンを活用した防除、ICT捕獲器を活用した有害鳥獣対策にも取り組む。

**問** 球磨川漁協稚魚放流事業で、ヤマメ3万6,000匹は、どこに放流をしているのか。

**答** 上地区3河川、岡原地区1河川、須恵地区2河川に放流を実施している。

商工観光課

**問** 販路拡大事業補助金が増額され1千500万円となっているが、その用途は。

**答** 商品開発等の業務を担当する人件費400万円、デザイン・表示ラベル等の専門分野の人件費100万円、PR費等を含めたマーケティング調査費350万円。都市部での販売会及びチラシ等の製作費・旅費450万円、企業とバイヤー等への販売促進に230万円。

**問** 商工振興補助金要綱で、普通車両購入費が対象外になっているのはなぜか。また、補助金の対象が1回限りとされた理由は。

**答** 農業振興補助金においても軽トラックは対象外となっているので、商工業事業者についても同様の取扱いとした。例えば補助金上限額の50万を10万に分けて5年間使えることも考えられたため、回数の制限を設けた。

**問** あさぎり商社は、豆乳、みそなどを独自で作っていたが、今後の運営において商社独自の特産物も開発していくのか。

**答** 商社で扱っている加工品については原価計算をしてみると作れば作るほど赤字という状況で、新たな加工品を作るということになれば、それなりの設備投資が必要になる。商品開発においては、町内の事業

所を支援するということを含め、今後検討しながら販路拡大事業で進めていきたい。

建設課

**問** 住宅建築物安全ストック形成事業補助金で、耐震の診断を県の建築士協会に委託されている理由は。

**答** 個人で契約をする事が難しいことから、町が関与して建築士協会との間に入り一括委託し、派遣をお願いしている。

**問** 令和8年も防草コンクリートを計画されているのか。

**答** 堂ノ下・堀之角線、免田百太郎線と別府線の3路線を防草コンクリート、免田川南線の1路線を防草シートで計画している。道路改良事業工事は、黒田古町線を防草コンクリートで、岡原免田線を防草シートで法面の一部防草工を計画している。



防草コンクリート

上下水道課

**問** 水道がどこで漏水しているか分からず、宅地内の配管を全部掘らなければ修理できない状況の対応は。

**答** 漏水箇所の確定については、少量であれば業者でも発見が難しい。一番安価な配管修理などを町の水道組合に相談しながら、できるだけ負担が少ない形で対応できるように考えていきたい。

町民課

**問** マイナンバーカード普及率は。

**答** 2月末時点で84・3% 全国平均81・7%となっている。

**問** 焼却場の建設計画が、広域行政組合の中で議論されている。コンパクトな施設にしないと建設費、維持管理費も莫大な金額が想定される。そのためには、燃やすものを少なくする以外に方法はない。広域行政組合の中で、燃えるゴミの減少にしっかりと取り組んでいくべきではないか。

**答** 現在、1日60トンの焼却規模。ごみ分別の種類を増やすなどの工夫をして市町

村の負担にならないような施設になるよう検討を進める。

**問** 資源有価物の地区還元交付金は、現在1kgあたり5円となっている。資源物が高騰していることから、要綱に定められている7円に引き上げることができないか。

**答** 庁内で協議したい。

生活福祉課

**問** 社会福祉協議会が実施している公立多良木病院までの、移動支援の状況は。

**答** 1月5日から実施して、現在までに4件。利用時間帯が1便と決まっているので利用増に向けて改善していく。

**問** こども医療給付金が、昨年と比べて、減額予算となっているが、原因は。

**答** 年々少子化となり、対象児童数が少なくなっている。

**問** 災害時避難要援護者支援システムはどのタイミングで、どのような方法で連絡が入るのか。

**答** 災害時に支援が必要な方を載せている名簿で、区長・民生委員・児童委員・消防団などの関係機関に配布し、活用している。

健康推進課

**問** 健幸運動教室は多額の予算が計上されているが、新たな取り組みとこれまでの効果は、どのようになっているのか。

**答** 新規事業として、熊本大学と連携し医療費の分析等を行う。長く続けることによって、医療費等の削減に効果があればと考えている。



筋トレ

教育課

**問** 伝統芸能のなり手不足を、どのように考えているのか。

**答** 地元の方に伝統芸能の重要さを理解していただき、継承いただきたいと考えている。



須恵小150年式典で披露された棒踊り

**問** 学校現場でタブレットが使われ始めてから、漢字を書く力や計算力が下がってきているのではないか。学力テストの結果を見て、どのような考えか。

**答** 児童生徒に教科書を使う場面をぜひ授業に取り入れてくださいと繰り返し指導・助言をしてきた。継続的に取り組みが広がり学力が向上していくところに期待している。

**問** 教育課所管の運動場の除草は十分にされていないが、新年度の対応は。

**答** 施設の維持管理は、業務委託費を増額し対応する。

**問** 才園古墳と本目遺跡の周辺整備並びに旧免田町時代の伝統神輿の活用を。

**答** 才園古墳は3D映像をホームページで見られるようにしたい。整備については検討していないが、岡留公園とあわせ観光資源として生かせないか考えていきたい。神輿の活用については、町内の白髪神社・霧島神社で活用されているので推奨していきたい。本目遺跡の看板は、免田式土器の形を残したまま張替えて対応したい。



才園古墳



本目遺跡

**問** 教育委員会の特別支援教育支援委員の配置は、十分に満たされているのか。

**答** 小学校に14名、中学校に5名。近隣の自治体と比べると、それなりにいい状況ではないかと思う。

税務課

**問** こども子育て支援納付金についての周知は。

**答** 4月以降の広報紙で詳しく説明させていただく。



## 町長選挙と議会議員選挙を 同時に行うことの要望書について

令和7年8月に提出された「町長選挙と議会議員選挙を同時に行うことへの要望書」は、令和7年度9月定例会において、地方自治の未来を創る調査特別委員会へ付託され、委員会で協議を重ね、委員会としての審査報告を3月定例会で行いました。審査結果、理由、議員の意見等を掲載します。

### 1 審査の結果 「継続審査」

### 2 継続審査とした理由

同時選挙において、客観的なメリット・デメリットがあるのは当然である。選挙費用について、金額は不明だが2回よりは1回のほうが安価で済むのは明らかである。2回選挙に行く住民にとって、1回で済むなら負担は軽減できる。

しかし、投票率がUPするかの数的根拠は不明である。また要望書提出時に添付された2,000人以上の署名の方以外の方が、4年間の任期を付託したにも関わらず、1年短縮して同時選挙を望んでいるかも不明である。町長においても、不慮の事故、不祥事などで辞職した場合は、また日程がずれる可能性がある。また、町長選挙の陰に隠れ、議員個人を選ぶ選挙ではなく、ある町長候補の応援議員とみられることもあることなども考えられる。何より、昨今の議員のなり手不足の中で、何の手立てもないなか、前回同様無投票になる可能性は否めない。まずは報酬改定や議員定数などを検討し、なり手不足解消を進めるべきとも考える。

全国議長会では、統一地方選挙で議員選挙を行っている自治体が、約3割程度という点に着目し、議員の任期を一時的に延ばす等、同時選挙にすることを目標に掲げている。

また、なり手不足解消の手段として、厚生年金適用も視野に入れ、将来への不安解消やサラリーマンから議員へ立候補しやすい環境作りも進められる予定である。

要望書提出者の意思は十分理解できるものの、本委員に付託され検討を重ねた結果、「自主解散」という重い決断は、現段階で委員会での判断は困難であり、本会議場で14人中、12人の賛成が必要となる案件について、議員それぞれが1つの判断を下すには、まだまだ調査・検討が必要と考えるため「継続審査」とした。



### 3 議員の意見



● 町民の代弁者として、二元代表の選任は別々に信任を問うべき。

● 議員のなり手不足が最重要課題であり、その解決に向けても志を抱く議員が安定的な活動が出来る環境となるために、法で定められた1期4年と議員報酬は保障されるべき。

● 議会費や選挙費は、議会が自治法上の「必置機関」であることから、交付税措置されており、各町村の自主財源の負担は軽減化されている。

● 同時選挙のメリットは理解しているが、デメリットとして有権者には町長選挙の方に関心が向き、議員選挙はその陰に隠れてしまい議員の考えが町長候補の考えに同じか違うか、または有権者が自分の推す町長候補と同じ議員候補に投票をする様な事が考えられ、議員選挙自体がぼやけることが危惧される。

また、自治体の首長の健康問題や不祥事などで辞職があった場合、その都度議会も解散を余儀なくされることは、町政の運営上、大変なマイナスとなる。

● 数百万円の費用削減を理由とする事に、大きな意味があるとは思えない。自主解散の大義とは、どういえるものではない。

● 地方自治法を遵守して政治を行わないと、安定した政治が行えない。諸条件で町長の任期が変更になった場合、また議会も自主解散を行うのか。不安定な政治体制では、自治体の発展は望めない。

● 4年間の任期をしっかりと全うしたいという思いがある。しかし、町民の声も真摯に受けとめる必要もある。議会の役割について、町民にしっかりとお知らせして、行政、まちづくりの在り方について伝えていくべき。



● 町長選に落選した候補が町議選に出馬した場合、町長との対立構造が生じ、感情的対立や足の引っ張り合いにより町政に支障を来す恐れがある。同時選挙により、政策の方向性を共存しやすくなり、建設的な議論が可能となる。

● 合併時に議員と町長の同日選挙をする自治体も存在する。合併時は、旧5町村での諸問題があり、特例の2年を、1年1か月にした経緯があるが、経費の削減、投票率の向上及び有権者の負担軽減になる。合併から22年経過しているので、原点に戻って同日で行うことが良い。

● 合併から20年以上かけて議論があったにもかかわらず、何一つ進んでない状況をどこかの時点で解決すべき。住民の代弁者としての存在意義を議員自らが拒否してきたと揶揄されても仕方のない状況である。人口減少や産業の衰退が深刻化している現在、何も行動を起さない事は、町の衰退を座して眺めている事と同様である。

● 経費削減の意図、町民の利便性についての見解は理解出来る。議員として、町民から選ばれた任期を果たす責任は重い。政策の方向性を求められていることは、各々の町民の思いは様々であってしかるべき。

● 要望者からは、議員選挙で初めて無投票となり議員のなり手不足という危機感は十分理解出来る。同時選挙は、議員にとってハードルがすごく高い。町政で大きな問題が生じていれば町民の間でも大きな感心事として注目されると思うが、現在のところそういう熱量は感じられない。議員にそこまで決断を出来る材料となりえるのか。社会情勢はその時々で常に変化していくので、いろんな動向を静観したい。

## 第7回会議（1月15日開催）

全議案  
全会一致で  
可決

### 令和7年度一般会計補正予算（第7号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ5億1,362万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ140億4,550万8千円とする。

#### 歳入 主なもの

- ・地方交付税 1億5,327万5千円
- ・地方創生臨時交付金 2億4,856万9千円
- ・物価高対応子育て応援手当支給補助金 4,111万3千円
- ・道路橋りょう費補助金 2,812万7千円
- ・道路橋りょう債 1,900万円



必ず有効期間内に  
使用してください

令和8年  
有効期限：5月1日～8月31日



- ・2万円は、1,000円券の20枚綴り。
- ・5千円は、1,000円券の5枚綴り。

#### 歳出 主なもの

- ・生活応援給付金 2億9,750万円  
（令和8年2月1日現在の住基登録者1人あたり2万円と、75歳以上にはさらに5千円上乘せ）
- ・物価高対応子育て応援手当 3,944万円（対象児童1人当たり2万を1,972人分）
- ・農業用機械等高騰対策支援金 2,655万円（2分の1の補助で上限は15万円まで）
- ・畜産業飼料高騰対策支援金 1,604万5千円（飼料高騰額の15%以内で上限20万円まで）
- ・道路維持費 3,521万8千円（舗装2路線・法面1路線・自転車道1路線）
- ・水道料金 1,218万2千円（物価高騰支援として、水道使用料の基本料金を令和8年2～3月分減免）※当初予算で、4月分も減免し、3ヶ月間行う。

#### 繰越明許費（事由により議会の議決を経て事業等を翌年度行うもの）

- ・物価高騰対応生活者支援LPガス補助事業 1,450万円（1世帯あたり3,000円）
- ・生活応援給付金給付事業 3億590万4千円
- ・農業用機械高騰等対策支援事業 2,655万円
- ・道路維持補修事業 3,021万8千円
- ・公共土木施設災害復旧事業 5,312万円



## 第8回会議（3月9日～19日開催）

### 審議内容の抜粋

#### 令和7年度一般会計補正予算（第9号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ832万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ140億6135万1千円とする。

#### 令和7年度一般会計補正予算（第9号）

**問** 予防接種事業の中のおたふく風邪の助成金が減額された理由は何か。

**答** 予防接種法の定めではないが、各幼児の健診等において周知を図る。



**問** 老朽化危険空き家除却促進事業が全額削減されている。地域住民への周知や、町民に寄り添った事業に取り組んでもらいたい。

**答** 補助事業との関連もあり、申請・着工等を確認しながら丁寧な説明と共に、速やかな対応に努める。

▶ 議案第54号 あさぎり町過疎地域持続的発展計画について

▶ 議案第55号 あさぎり町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

・こども誰でも通園制度で、0歳6か月から満3歳未満で保育園に通っていない子供を育てている家庭が、一定期間での利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる。

▶ 議案第56号～議案第60号

あさぎり町消防団・一般職員の給与や旅費等・介護保険条例の一部を改正する条例制定について

▶ 議案第61号 あさぎり町火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について

・林野火災注意報・林野火災警報が発令された場合は、火入れ責任者は速やかに消火しなければならない。

▶ 議案第63号～議案第68号 特別会計補正予算を審議決定

▶ 発議第2号 あさぎり町議会の議員の費用弁償に関する条例の一部改正

▶ 議案第69号 令和8年度一般会計補正予算

▶ 議案第70号～議案第76号

令和8年度国保・後期高齢・介護・水道・下水道・障害認定・介護認定の特別会計予算を審議決定

**問** 議案第74号の下水道会計において減債基金への財源対応は、平準化債発行のメリットはあるのか。

**答** 今後、経営戦略や財政課と方針を協議を図りながら進めたい。

#### 令和7年度 第8回会議 表決一覧表（反対者のみ×印記載）

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	採決結果
氏名	小松	加藤	小谷	岩本	難波	加賀山	橋本	森岡	豊永	山口	皆越	溝口	永井	小見田	
議案第55号					×									—	原案可決
議案第74号			×				—							—	原案可決

※採決に加わらない議長及び欠席は「—」と表記。

# スポーツ・文化活動大会参加補助の 拡充を



2次元コードで各議員の  
一般質問の動画がご覧になれます。

かがやま  
**加賀山** みつこ  
**瑞津子** 議員



## 問

町には大会参加  
奨励交付金制度が  
設けられているが、近年  
の物価高騰等により交通  
費や宿泊費が上昇し、経  
済的負担が非常に大きく  
なってきた。特に遠  
方の大会や、小中学生が  
出場する場合に保護者同  
行等費用も家庭にとって  
大きな負担。挑戦する子  
ども達を地域で支える事  
は将来の人材育成や地域  
の活力にもつながる大切  
な取り組みでもある。町  
の今後の支援の考えは。

## 町長

近年の物価高騰等を踏  
まえ開催地ごとの設定も  
必要だと考えている。部  
活動の地域移行に併せ近  
隣町村の状況を確認し分  
析していきたい。



人材育成に繋がる大会への参加

## 問

大会参加お祝い  
の横断幕について  
は以前から設置場所や駅  
前広場への電光掲示板の  
提案があるが。

## 町長

今の設置場所が目立た  
ない事は十分わかってい  
るので町内部で考えたい。

## 問

ふるさと寄附金  
は本町において子  
育て・高齢者支援など  
の住民の生活を支える  
重要な財源となってい

る。寄附額は令和4年  
度4億円が7年度1億  
円に減収している、ど  
う捉えているか。

## 町長

馬刺し終了の影響が大  
きい、新たな返礼品の開  
発等について担当課を中  
心に巻き返しを図ってい  
きたい。

## 問

参加型の返礼品  
として、町が力を  
入れている「あさぎりク  
エスト」のキャラクター  
人気投票や物販にQR  
コードを活用。非公式  
キャラクターの「くまそ  
大王」や「リュウキンカ  
ちゃん」とのコラボや住  
民対象の推奨商品を使っ  
ての料理コンテスト、マ  
ルシェや南稜高校とのタ  
イアップなどどうか。

## 商工観光課長

ふるさと納税に絡めた  
推奨商品のPRや町民に  
向けたメッセージの発信  
の仕方やコンテスト的な  
ものも含めて、まずは  
知っていただく取り組み  
は必要。あさぎり商社を  
中心に一緒に取り組んで  
いきたい。



沢山の参加があった祭り

## その他の質問

• リュウキンカフェス  
ティバルの開催を



## 人口減少に伴う持続可能なまちづくりは

はしもと  
**橋本**  
まこと  
**誠** 議員

2次元コードで各議員の  
一般質問の動画がご覧になれます。



### 問

少子化対策について、現状と課題を問う。

### 町長

全国のほとんどの自治体が、人口減少に頭を抱えている。

### 健康推進課長

不妊治療、不妊治療費の助成事業実施要綱を定めている。

### 生活福祉課長

出生祝金事業、子ども医療費助成制度、児童手当、妊婦支援給付金、病児病後児保育事業、放課後児童クラブ、そのほかにも、ひとり親家庭への支援や、障がいのある子どもの子育て支援など取り組んでいる。

### 問

少子化対策の現状として、他町村よりもあさぎり町は支援をしていると思う。

財政的には、今後減っていくと思われるが、町としては大丈夫なのか。

### 財政課長

必要な財源の確保については、本町の財政状況を示す財政の4指標、いずれの指標も現在、堅調に推移している。毎年度の当初予算でしっかりと確保していく。

### 問

役場職員や、行政区等を含む町の後継者育成について、どのように取り組んでいくのか。

### 町長

小さいときからの教育にも関わる問題であると思っている。中心となる人物をどう発掘、どう教育していくかというものは、非常に難しい課題だ。

### 問

小・中学校の入学祝い、奨学金返還若者就労支援の就労事業補助金の財源は。

### 財政課長

入学祝金事業については、今回は一般財源。奨学金の若者就労支援補助金については、ふるさと基金やまちづくり基金を活用。

### 町長

今後、恒常的に実施していく。

### 問

人口減少に対する町長の考え方は。

### 町長

人口減少、少子高齢化という課題は自治体の喫緊の課題だと捉えている。あさぎり町ばかりでなく人吉球磨地域や熊本県全体の課題であり、広域連携しながらこういった課題について議論していきたい。



詳しくは  
生活福祉課へ  
おたずねください。



# 上地区石田橋について



とよなが きいち  
**豊永 喜一** 議員



2次元コードで各議員の  
一般質問の動画がご覧になれます。

## 問

石田橋は、県管

理河川免田川の柳別府区と塚脇区をつなぐ、今では希少となった木製の吊橋で、百太郎溝整備時に架設され長い歴史を刻んだ文化的、教育的な貴重な土木遺産である。この木橋は免田川とサイフォンで交差して流れる百太郎溝管理堤防道路の一部区間をなす橋架であり、溝管理、免田川堤防や隣接水田の管理においてもなくてはならない大変重要な橋架である。しかし、ここ10年近く老朽化を理由に修繕もされず放置され通行止めとなっており、免田川で地域間が分断され、不便を強いられている等の内容で、令和6年4月に柳別府・塚脇区長、百太郎



現在の石田橋の状況

溝土地改良区理事長の連名で「石田橋の架け替え工事着手に関する陳情書」が提出され、議会では、当年6月定例会で総務建設経済常任委員会へ付託され、9月定例会で趣旨採択となつてい

## 町長

地元からの要望書や議会での趣旨採択は承知している。町としてもサイクリングロード、かんがい遺産に絡めた事業などいろいろと模索してきたが、方向性が見いだせない状況が続いている。まず橋架点検をして、改修可能なのか確認した上で協議したい。

## 建設課長

今の石田橋の状況は木造橋で腐食による損傷が激しいことから平成29年より通行止めをしている。令和元年度に改修工事を検討したが、工事費が多額であることなどから断念した経緯がある。今後の対策を検討するため、今年度詳細点検業務委託をしている。



## 問

詳細点検業務委託の報告が3月下旬ということだが、その後の取組予定は。

## 建設課長

詳細点検の結果待ちであるが、精査をして報告したい。



## 人口減少対策、物価高騰対策について

かとう ひろし  
加藤 弘 議員

2次元コードで各議員の  
一般質問の動画をご覧いただけます。



※0歳児は令和7年4月2日か  
ら令和8年2月末日まで

学校名・年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳（既入学予定）	7歳（既入学済）
該当生年月日	R7.4.2~ R8.2月末	R6.4.2~ R7.4.1	R5.4.2~ R6.4.1	R4.4.2~ R5.4.1	R3.4.2~ R4.4.1	R2.4.2~ R3.4.1	H31.4.2~ R2.4.1	H30.4.2~ H31.4.1
上小学校	7	12	17	17	29	21	26	15
免田小学校	29	31	35	44	27	37	33	49
岡原小学校	10	6	12	10	9	18	16	12
須恵小学校	2	2	7	8	6	8	8	11
深田小学校	5	6	5	10	5	4	6	11
合計	53	57	76	89	76	88	89	98

令和7年度の住民基本台帳では、プラス238人となっている。

### 企画政策課長

**問** 第3次総合計画の人口では、令和13年度が「12,480人以上」とあるが、計画に対してどのような状況で推移しているか。また、施政方針の中に「自然増や社会増に繋がる積極的な取り組みを行い」とあるが、その結果は。

**問** 「国関係への要望かけ知事室」及び「お出がり町議会議長と木村県知事との意見交換の結果を踏まえて、本町では農林業や現在ある事業所の更なる支援が必要と考え

**問** 自然増に繋がる対策として、同種の質問で回答がなされている以外では。

**問** 社会増に繋がる対策は。

**問** 移住定住促進奨励事業補助金を設けている。40歳未満の場合は、補助金額が50万円、40歳以上の場合は30万円が交付される。この2年間で62人の人口増を見込んでいます。

### 商工観光課長

### 商工観光課長

郡内の協議会や錦町と連携した婚活イベントの実施や、新婚新生活支援補助金も充実している。

**問** 令和8年度も物価高騰対策が必要であると思うが。



値上げ

**町長** 国の動向を見ながら地域に合った物価高騰対策を考えていかなければならないと思っている。

**問** 今後、物価高騰対策があれば、障害年金に該当しない、一般就労も出来ない障がい者の方々に、支援は出来ないか。

**町長** 現在、国は国道219号線や川辺川ダム工事を県は農林業他人吉球磨の振興を、県南中心に進める考えのようである。本町も、このことに貢献出来ればと考えている。

**その他の質問**

- ・役場と農家の勉強会や意見交換会は
- ・物価高騰対策の自己評価は

**町長** 生活福祉課の窓口で相談いただければと思う。

**問** 今後、物価高騰対策があれば、障害年金に該当しない、一般就労も出来ない障がい者の方々に、支援は出来ないか。



# 令和8年度施政方針の 具体的内容と対応について



2次元コードで各議員の  
一般質問の動画がご覧になれます。

こたに せつお  
**小谷 節雄** 議員



## 問

119億円とい  
う予算規模を含  
め、今回の予算案につい  
て町長としての評価・想  
いは。

## 町長

近年の大型事業が一区  
切りしたことにより、令  
和7年度との比較では約  
10億円の減となったが  
その中にも入学生祝  
金事業などの子育て支援  
や、防災・減災対策とし  
ての伊賀川や鍋塚放水路  
の継続事業。避難所の環  
境改善としての空調設備  
に向けた設計やDX推進  
としてのスマホ市役所な  
ど、重点分野については  
積極財政としており、バ  
ランスに配慮した予算編  
成になったのではない  
か。

## 問

新たに組み  
入れる奨学金返還若  
者就労支援事業の目指す  
ものは。

## 商工観光課長

町内に住所を有し、人  
吉球磨地域等の企業に雇  
用され、または起業して  
いる者に対して、返還中  
奨学金の3分の2を補助  
することにより若者の町  
内への移住定住の促進を  
図り、本町の課題となっ  
ている担い手不足の解消  
や持続可能な地域経済活



「あさぎり町入学祝金事業」  
が始まります。

## 問

避難所としての  
体育施設の環境整  
備の具体的な事業計画  
は。

## 教育課長

令和8年度の当初予算  
では、上の武道館、免田  
の体育館、深田の体育館  
の空調設置を計画してい  
る。

## 問

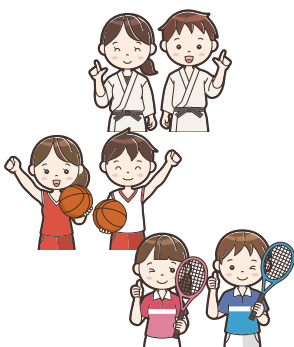
新年度から一部  
スタートする中学  
校部活動の地域展開で  
は、「学校部活動が担っ  
てきた教育的意義を継承  
発展させた活動」となっ  
ている点や、家庭環境の  
違いなどから生じる体験  
格差に対する対応など

動に繋がることを期待し  
ている。

## 教育長

現時点での受け入れ態勢  
整備までのハードルはか  
なり高いと感じるが。

部活動の持っている意  
義をどう繋いでいくかが  
一番難しいところと思っ  
ている。体験の機会がな  
くなるのではないかと  
いうことも含め、どのよう  
に放課後からスムーズに  
移行できるかや、部活動  
は生徒指導の面とか異学  
年や先生たちとの交流の  
場でもあったので、そう  
いった点を含めて十分配  
慮しながら進めたい。





## 農業支援センター及びシルバー人材センターの今後の運営は

こまつ えいち  
小松 英一 議員

2次元コードで各議員の  
一般質問の動画がご覧になれます。



**問** 農業就業人口や農家数が減少している中で、農業経営体は今後どうあるべきか町長の考えは。

**町長**

農業従事者の高齢化や農家数の減少などによって、農地の保全が困難な状況になっており、法人経営組織の役割が拡大している。今後も法人化の推進、農業支援センターやシルバー人材センター等を活用し、人材の確保に努めていきたい。

**問** 山麓地帯などの耕作条件が悪い農地を守っていくために農業支援センターが自ら耕作することを目指すべきではないか。

**町長**

今後、山間の農地や耕作放棄地になりそうな農地の保全は重要な課題だと考えていて、農業支援センターの在り方、体制や業務内容等について検討を続ける必要があると感じている。



シルバー人材センター農業ヘルパーの様子

**問**

シルバー人材センターの会員数の減少に伴って、契約金額も8千万円代になってきている。今後は町からの運営補助金なども考えないと、単独での運営は厳しいのではないか。

**高齢福祉課長**

会員数が一番多い時期は、平成25年の213名で、現在は半減している。今の運営状況だと赤字に転落することが目に見えており、補助金や人員体



シルバー人材センター会員活動

制などの検討が必要な時期になっていると感じている。

**問**

施政方針の中で、「事務事業の選択と集中を徹底する」とあるが、新しい政策に取り組み一方で、事業効果を見ながら事業の廃止や縮小をしていくべきだと考えるが。

**町長**

財政需要に合った事業に見直すことを進めているが、町の行政の密着度は国や県とは違うと思われるので、廃止や縮小できない部分はある。ただし、町でやるべきことはきちんとやる、そして民間にできる部分は民間でということに関しては実行していきたい。

# 文化財の保護継承は



ながい 永井 えいじ 英治 議員



2次元コードで各議員の  
一般質問の動画がご覧になれます。

## 問

あさぎり町には、伝統芸能を含めた有形無形の文化財や丸池のリユウキンカなどの町指定の天然記念物など、多数の文化財が存在する。これらの貴重な文化財の保護と、後世に伝えていくことは、私たちの世代の責務と考えるが。

## 町長

地域の過疎化に伴い文化財を保存し継承する担い手が不足し、文化財が大きな危機に瀕していることから、従来の地域や個人で保存されている文化財の保護状況を、歴史文化を連携させる地域や町全体での保存・活用への転換というものを社会全体で支えていく体制づくりというものが必要になってくると思っている。

## 問

郷土芸能継承に  
支援は。  
についての、今後の



伝統芸能・太鼓踊り

## 教育課長

郷土芸能を継続していくには費用面の課題もあるのですが、あさぎり町伝統芸能保存継承費補助金の積極的な活用を呼びかけていきたい。道具の修理や衣装の新調で町の補助金では賄えないものについては、財団助成の活用についても紹介をしていきたい。

## 施政方針の中山間地域農業の施策は

## 問

中山間地域への  
支援策は。

## 農林振興課長

最終的には、中山間地

域直接支払制度推進協議会で事業は決定されることになるのだが、まず現在の案として、ネットワー

ク加算については、協議会でラジコン草刈り機を購入し農地などの除草を行い、高土手などの危険箇所については、優先順位により防草シートを施工していきたいと考えている。ラジコン草刈り機のおペレーター育成については、農業支援センター職員が講師となった操作研修会を実施する予定としている。スマート

農業加算では、協議会でドローンを購入し、農地の防除を実施する。ドローンのオペレーターについては、希望者に5月から購入先での講習会と認定試験を受け資格を取得して頂く計画である。



中山間地・危険な高畦の除草作業



## 公営住宅入居条件の 連帯保証人は必要か

みぞぐち 溝口 峰男 議員

2次元コードで各議員の  
一般質問の動画がご覧になれます。



**問** 入居者募集に  
は、条件として保  
証人2名が必要とされて  
いるが、国の通達や町の  
連帯保証人免除規則から  
みて必要か。

**建設課長**  
外国人の入居は、現在  
ゼロ人。国からの通達に  
ついては相談・申込みが  
あった場合に適切に対応  
できるように、内規や事  
務マニュアル等を整備し  
対応する。

**問** 外国人が安心し  
て暮らせる環境を  
整えるための「※共生社  
会の実現」の施策は、重  
要である。外国人の公営  
住宅入居に関する条件等  
に関し、国から通知が出  
ており条例や要綱等を整  
備すべきではないか。



政策的空き部屋が  
27ある下道団地

**建設課長**  
2月末で空き室が42戸  
あり、その内、立て替え  
計画の住宅を政策的空き  
室として28ある。年3回  
の募集に増やして対応し  
ている。清掃については  
入居者をお願いしている  
が、進んでいない所も見  
られるので、町の方も出  
向いて話し合ってきた  
い。

**建設課長**  
規則等を精査して、改  
正がいいのか検討する。  
**問** 公営住宅空き室  
対策と周辺の清掃  
は行き届いているのか。



台湾の小学生との交流

**教育長**  
7年度、地域に住んで  
いる外国人と地域の方  
小学生と花壇の花植えを  
したり、台湾の小学5・  
6年生と交流を深めたり  
国際理解教育を実施し  
た。

**問** 共生社会につい  
て、教育部門では  
どのような取り組みを  
行っているのか。

**上下水道課長**  
県内の先進事例の事業  
成果などを参考に、水道  
事業経営戦略が8年度改  
定の時期を迎え、DX  
化の取り組みも盛り込ん  
で判断をしていきたい。  
※共生社会とは  
「外国人及び年齢・性別・  
障害の有無に関わらず  
全ての方が互いに支えあ  
い、認め合う社会のこと」

**水道事業のDX化の活  
用について**  
**問** 水道事業は、様々  
な課題に直面して  
おり運営基盤の強化、業  
務の効率化を図るために  
DX化を活用し、自動検  
針や漏水の早期発見に取  
り組むべきではないか。



## 上球磨消防組合議会

令和8年第1回上球磨消防組合議会定例会が、2月27日午前10時から会期1日で開催された。

はじめに、米本宗徳議長（水上村）から辞職願が提出され、採決の結果、全会一致で行われ、橋本誠副議長（あさぎり町）が議長に選出された。続いて副議長選挙が行われ、落合健治議員（多良木町）が副議長に選出された。

また、監査委員の選任では、倉本豊議員（湯前町）が選任された。



## 人吉球磨広域行政組合議会

令和8年第1回人吉球磨広域行政組合定例会が、令和8年2月26日午前10時から人吉球磨グリーンプラザ大会議室で開催された。

球磨村議会の選挙に伴い議長が不在となっており、議長が決定するまで、田中哲副議長（人吉市）が議長の職を行い、議長選挙は、指名推薦で行うことが決定し、各地区から選出された8名の選考委員により、山口和幸議員（あさぎり町）が推薦され、全員一致によって議長に当選された。

## 議員との意見交換会を開催します

日頃より、町の発展と住みよい地域づくりにご協力いただき、誠にありがとうございます。この度、議員との意見交換会を希望する方々の募集を行います。皆様のご意見やご要望を直接議員にお伝えいただける貴重な機会ですので是非、ご利用ください。

**日時：希望日を調整し、決定します。**

**場所：あさぎり町役場 第二庁舎 2階 議員控室**

※その他、ご希望の場所があればご相談ください。

**参加人数：3人～10人程度（1回あたり）**

**意見交換会は、ディスカッション形式で行う予定です。**



### 注意事項

1. 具体的な内容や数字等が必要な質問については 事前にお知らせください。
2. 個人的な内容や誹謗中傷は、受け付けません。
3. 対応する議員は、2人～4人。対応する議員の指名は出来ません。
4. 申込みが多い場合は、受付順で対応します。

### お申込みはこちらまで

氏名、連絡先、内容等の必要事項を下記のいずれかの方法で連絡をお願いします。

■電話

議会事務局 47-0312（直通）

■お問い合わせフォーム

[地方自治の未来を創る調査特別委員会](#)



▶ 議会だよりについてアンケートをお願いします。



## 総務建設経済常任委員会

2月2日

令和7年11月20日、商工会より2つの要望書が提出された。

1 あさぎり町商工業振興補助金見直し要望について

①事業継続・拡大に関する事業については、一人・社あたり1回限りの、制限の見直しについて

②事業承継の事業に関する、補助対象期間の見直しについて

2 あさぎり町商工会補助金の増額の要望について

①商工会の事業者を支援するためにDX化による業務の効率化を図ること

②商工会館の老朽化による施設の維持管理経費の増加に関する事

商工会から現状等を把握するための質疑応答を行った。また、町における検討状況等もあわせて確認した。

委員からは、商工業振興補助金のこれまでの利用実績等の質問や、商工会補助金の増額に関する質問があった。

2月18日

前回の委員会で質問があった商工業振興補助金の利用実績について、町から過去3年間における補助金の利用申請件数及び実績額をはじめ、導入・整備機器の内容等について説明があった。

あさぎり町商工会から出された要望書について、「総務建設経済常任委員会としては、採択」とした。



あさぎり町商工会

## 厚生文教常任委員会

12月11日

【健康推進課、教育課】

・ 雑草繁茂の対応、予算措置について  
防草シートの有効活用等、設置場所の確認

2月26日

【健康推進課】

・ あさぎり町健幸運動教室について

令和2年からの5年間のまとめ（462名）参加者の推移、体力年齢の変化、心理面の変化の報告 令和7年度事業経費2,551万7千円。令和8年度は熊本大学とタイアップして状況の分析を計画。

【生活福祉課】

・ 救護施設しらがね寮の民間移譲について

令和8年度は町で運営を行い、今後は指定管理等についても視野に入れながら民間移譲を検討。

・ あさぎり町手話言語の理解及び普及並びに障害の特性に応じた多様なコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例の制定について

現在町の条例、規則により既に対応が可能となっている。「手話は言語である」ことの理解と啓発を、町民に向けてしっかりと深めていく必要があるとの意見があった。



**Pick Up!**  
議員活動

## こんなこともやっています！



2月24日

上球磨正副議長会健康づくり交流会および研修会 湯前町のグリーンパレスグラウンドゴルフ場で健康づくり交流会を行った後、水上村の岩野公民館へ移動し、熊本県町村議会議長会事務局長の古家 陽介氏を講師に「町村議会をめぐる昨今の動向」と題し議員のなり手不足等の研修を行った。



3月8日

くま川鉄道全線開通に向けて、議員有志7人等でおかどめ幸福駅駐車場周辺の事前に耕して肥料をまいていた花壇に、「岡留公園周辺活性化イベント実行委員会」が育てたビオラやキンセンカ、ノースポールなどの花苗1,000株を植えた。



### 山口 和幸議員

**祝** おめでとう  
ございます

15年表彰  
全国町村議会議長会・熊本県町村議会議長会

## 2月～4月活動内容一覧

月 日	行 事 名	参 加 者	
2月	2日	議員懇談会・全員協議会、第9回地方自治の未来を創る調査特別委員会 総務建設経済常任委員会	議員
	6日	令和7年度球磨郡町村議会議員研修会（錦町）	議員
	10日	郡定例議長会（人吉市）	議長
	13日	幸野溝完成320周年記念式典（湯前町） （株）テクノワールド人吉工場落成祝賀会（人吉市）	議長
	14日	国道219号（八代市渡町～坂本橋）並びに坂本橋完成式 他（八代市）	議長
	18日	全員協議会、第12回公共施設マネジメント調査特別委員会	議員
	20日	熊本県町村議会議長会第76回定期総会（熊本市）	議長
	24日	上球磨正副議長会健康づくり交流会及び研修会（湯前町、水上村）	議員
	26日	厚生文教常任委員会	議員
3月	2日	議員懇談会・全員協議会、第10回地方自治の未来を創る調査特別委員会 総務建設経済常任委員会	議員
	3日	議会運営委員会	議員
	8日	令和7年度あさぎり中学校第14回卒業証書授与式	議員
	9日～19日	定休日	議員
	9日	全員協議会、第11回地方自治の未来を創る調査特別委員会	議員
	19日	全員協議会	議員
	23日	管内小学校卒業式	議員
	24日	郡定例議長会（人吉市）	議長
	26日	上球磨正副議長会（湯前町）	正副議長
29日	第4回あさぎりGO!!農'sフェスタ（もみじ館）	議長	
4月	1日	議員懇談会・全員協議会	議員
	9日	管内小学校入学式（午前）、あさぎり中学校入学式（午後）	議員
	10日	令和7年度農業委員会等表彰「農林水産大臣賞」受賞祝賀会（春日会館）	議長 総務建設経済常任委員長
	12日	あさぎり町消防団入退団式（須恵文化ホール駐車場）	議長
	19日	第19回あさぎり町中部ふるさと会（愛知県）	議長、議員2名
	22日	厚生文教常任委員会	議員
	23日	全員協議会	議員
	27日	第1回会議 郡定例議長会（人吉市）	議員 議長

聞かせて

# 町民の声

このコーナーは町民の皆さまの日頃の活動状況や議会・町に関する要望等を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力をお願いします。

## あさぎり駅前の賑わいを願って

あさぎりマルシェ実行委員会 実行委員長 **税木 正昭**さん

4月12日に第30回となる「あさぎりマルシェ」を開催しました。

この取り組みは、あまり利用されていないあさぎり駅前の芝生広場を活用し、定期的にマルシェを開催することで、町の賑わいづくりができないかと、町内の有志が集まって始めたものです。14店舗の参加から始まったマルシェも、回を重ねるごとに出店希望者が増え、ありがたいことに現在では町内はもとより、遠くは福岡県からもご出店いただき、50店舗を超える出店をいただいております。マルシェ当日は小さなお子さまを連れてご家族や、お仲間同士の方などたくさんのお客様で賑わっています。

マルシェを運営するのは少人数の実行委員会ですが出店者の皆様が準備や片づけを手伝っていただけるので、とても助かっており、準備や片づけ、定期的な出店をとおして出店者同士が仲良くなられ、お店同士での取引や新しい商品の開発、出店者として定期的にあさぎり町を訪れて来られる関係人口の増加といった相乗効果が出ているところです。

3年目を迎え、新たな取り組みにもチャレンジしようと、更なるあさぎり駅前の賑わいづくりとして、マルシェ前日に開催するナイトバルのスタートや、岡留公園、幸福駅売店の夜桜ライトアップといった新たな観光スポットづくりに出来るところからトライ&エラーを繰り返しながら取り組んでいるところです。

あさぎりマルシェ、あさぎりナイトバルは、毎月第2土曜日と日曜日に開催しております。美味しいものや、アクセサリー、ワークショップ、マッサージなどたくさんのお店が皆様のご来場をお待ちしております。ぜひご来場ください。



## 編集後記

豪雨災害から約6年、くま川鉄道が本年9月20日(日)に全線開通します。

人吉球磨の線路が、復旧・復興のシンボルとして再び繋がります。

『日本でもっとも豊かな隠れ里』と司馬遼太郎さんが、「街道をゆく」で記しています。

自然豊かで人情味溢れる人吉球磨地域です。観光振興だけでなく、通学・通勤など地域を支える重要な交通手段でもあります。

地域の夢と希望を運ぶ「くま川鉄道」の復活、良かった。(山口 和幸)

### 編集発行者

議長 小見田 和行

### 広報調査特別委員会

委員長 森岡 勉

副委員長 加賀山瑞津子

委員 難波 文美

委員 豊永 喜一

委員 山口 和幸

委員 溝口 峰男



※本紙内容の無断複写およびSNS等への投稿、掲載は一切禁止します。

★お願い★ 「議会広報」の腕章をした議員が、写真撮影等でお伺いして取材します。議会広報に載ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。